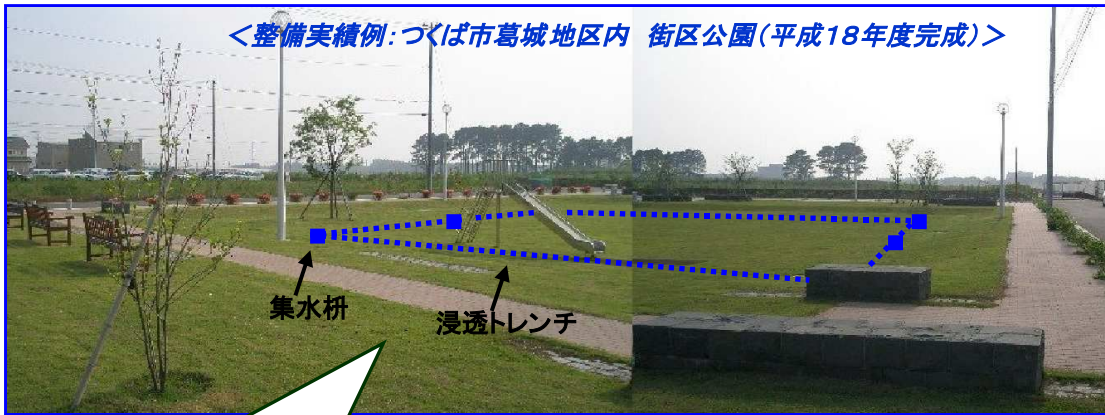
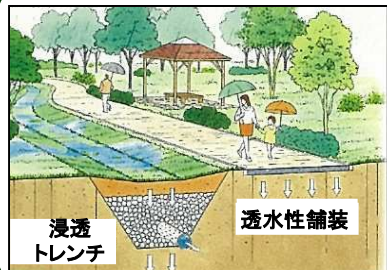


貯留浸透施設による流出抑制と良好な水環境の保全

<整備実績例: つくば市葛城地区内 街区公園(平成18年度完成)>



公園の貯留・浸透イメージ図

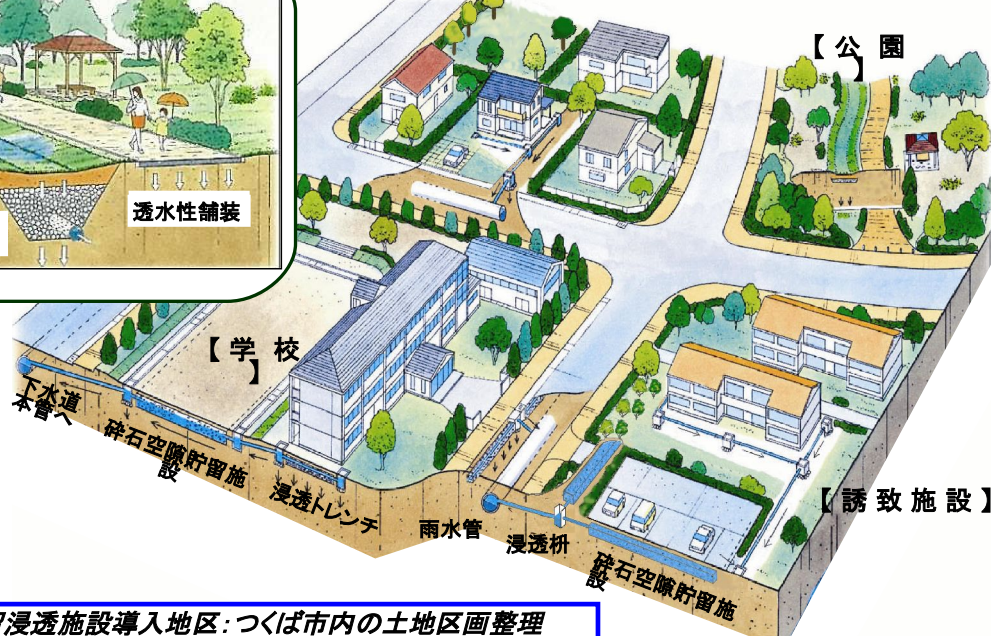


【戸建て住宅】

【公園】

【学校】

【誘致施設】



※ 貯留浸透施設導入地区: つくば市内の土地区画整理事業4地区
→ 「葛城」、「蒼丸」、「島名・福田坪」、「上河原崎・中西」の各地区

★4地区全体で25mプールの約700杯分を貯留・浸透できる!

◆ つくばエクスプレス沿線の土地区画整理事業(つくば市内)では、**学校、公園や住宅**などの敷地内に**雨水を貯め、地中へ浸透させる施設**を設置しています。

<開発前>



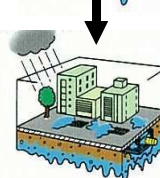
● 開発する前は、地表に降り注いだ雨水は地中へ浸透していました。

<開発後>



貯留浸透施設なし

● 開発をおこなうと、アスファルト舗装など、雨水が浸透しづらい地表が多くなり、河川への流出量が増大し、洪水が発生しやすくなります。



貯留浸透施設を設置

● 貯留浸透施設を設置することにより、雨水を貯め、地中に浸透させることができます。

☆ その効果は

① 河川への流出抑制

・開発地区内から河川へ流出する雨水の量を抑えることができます。

② 良好な水環境の保全

・地中に浸透した雨水は河川の水辺環境や水利用などに必要な水量として安定的に供給されます。